

2018年7月20日
第97号

全労連

全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

JMITU

原水禁世界大会へ 青年の派遣に力を入れて て30人規模の代表団を送ろうと奮闘中！

JMITUでは、今年の世界大会を「国連が採択した核兵器禁止条約の早期発効へ国際世論と運動を飛躍させる契機」と位置づけ、日本政府に条約参加を迫り、「ヒバクシャ国際署名」成功へ運動の交流・意思統一の場として成功させようと、青年はじめ30人規模の代表団を派遣する準備を進めています。「職場と産別の次代の担い手・働き手を育てていく観点でおおいに議論し、カンパ(用紙作成)を募り運動をつくること。代表派遣にあたっては青年の派遣に力を入れること」を提案し、次々と代表者が決まってきました。

今月12日現在、6県18支部、中央、神奈川地本など、大人23人+子ども1人(7月12日現在、20代6人・30代4人)の参加が決まり、引き続き30人の代表団派遣を実現させようと、とりくみをひろげています。

オリジナル企画を、2日目午前中に、初参加の人や青年全員と希望者が参加できる「原爆遺跡・碑めぐり」を準備しています。1つは、広島市の爆心地の遺跡として、爆心地から350mだった**本川小学校平和資料館**(この日生存できたのは児童1人と教師1人のみだった・左下写真)、2つは、爆心地から170mだった**旧大正呉服店**(現レストハウス)地下(生き残ったのは、地下で作業していた野村栄三さんただ一人だった・右下写真)です。現在もその爪痕が残る施設を自分の目で見て、平和をともに考えてほしいと計画しています。



↑被爆前から平和資料館としての保存までの様子などをパネル等で紹介している



↑1名だけが奇跡的に生き永らえた地下室は現在も被爆当時のまま残されており、レストハウスの職員に申し出れば見学も可能である。

+オプション企画として、「宮島見学と灯籠流し」(宮島・厳島神社見学後、6日夕方～灯籠流し見学)も計画しています。

原水禁世界大会成功へ一歩ずつ 国民平和大行進 ④ 広島

困難の中で市民が後押し原爆展、平和行進、原水禁世界大会へ

7月19日、日本原水協の安井正和事務局長と広島県原水協の古田文和事務局長は、県下で大きな被害を受けた東広島市を訪ね、東広島原水協を見舞いました。

連日35度を超える猛暑の中、東広島原水協事務局の綿岡夫妻、理事の岩城夫妻に会うことができました。世界大会実行委員会のアピールを渡して、豪雨被害の実情を聞きました。

防災放送からFMラジオに避難指示届かず

東広島市では市内を流れる黒瀬川の氾濫により、死者12人、行方不明1人、全壊・半壊家屋60棟、床上浸水111家屋、土砂災害か所39件(7月19日現在、広島県ホームページ)という大きな被害が出ています。綿岡さん夫妻は、「あと1時間降り続けたら、自宅も被災していた」と語り、被害拡大の要因の一つに、広域合併により防災放送が廃止され、防災ラジオ(FM放送)で避難勧告を聞く以外ないこと。防災ラジオは外に持ち出して聞くことができず、しかも半数以下の家庭(世帯総数8万)にしか設置されていないことなど、危機管理上の大きな問題があったことが指摘されました。被害地(者)への支援も市内のボランティアに託されており、今後の支援を強めてほしいとの要望が出されました。

原爆展に多くの市民が来場 世界大会にはワゴン車で



東広島市のHPより

世界大会にむけた活動では、豪雨災害という困難な中でも市民の後押しを受けて奮闘しています。東広島原水協は7月はじめから、市内5か所での「原爆展」を計画。最初の開催日である7月6日は集中豪雨と重なり、中止しようとしたのですが、会場(黒瀬生涯学習センター)に市民が集まってきたこともあり、大雨洪水特別警報が出された7日午前中は中止したものの、8日の17時まで「原爆展」を開催しました。2日半でのべ155人が来場し、「ヒバクシャ国際署名」28筆、カンパ9,318円が寄せられました。スーパーの閉店や品切れの中、手作りおむすびの差し入れもありました。続けて、9日から12日まで、東広島市役所で「原爆展」を計画通り開催しました。り災証明手続きもあり、1階ロビーから10階に会場を移動しましたが、5日間でのべ208人が来場し、アンケート42人、署名59筆、カンパ2,063円が寄せられました。

今年の「原爆展」では、「原爆と人間」展パネルとともにセツコ・サーローさんのノーベル平和賞受賞スピーチを大きな紙に毛筆で書いて展示しました。この「原爆展」を力にして、7月末の平和行進を成功させること、世界大会には、在来線が一部不通となっていることもあり、2台のワゴン車で参加する計画です。岩城さんは、「豪雨災害にあった人々への支援と連帯の大会になってほしい」と期待を述べました。

(原水協通信 On The Webより)